

| 授業科目名 | 開講 年次 | 開講 学期 | 講義 種類 | 単位数 | 担当教員名 |
|-------|----------|----------|----------|-----|-------|
| 教育実習 | 2 | 通年 | 実習 | 4 | 西元 道子 |

○ 授業の到達目標

1. 幼児との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。
2. 指導教員等の保育について、視点を持って観察し、事実在即して記録することができる。
3. 教育実習園の経営方針及び教育方針、特色ある教育活動について理解する。
4. 幼稚園教育要領および幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し、保育を実践することができる。
5. 保育に必要な基礎的技術（話法、保育形態、保育展開、環境構成等）を実地に即して身につけるとともに幼児の体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報機器を活用することができる。
6. 保育者の役割と職務内容を实地に即して理解している。
7. 様々な活動の場面で適切に幼児と関わる事ができる。
8. 幼稚園における子育て支援について理解する。

○ 授業の概要

教育実習は幼稚園教員免許取得上、必修の実習である。幼稚園における教育実習では、幼児や保育環境等に対して適切な観察を行うとともに、実際の教員（保育者）の職務内容を体験することを通して、実習園の幼児の実態とこれを踏まえた教育方針および特色ある教育活動について理解する。また、授業で学んだ領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を保育で実践するための基礎を身につけ、保育実践力の向上を目指すものである。

○ 授業計画

20日間（10日間×2回）の実習期間を通して、下記の内容について理解する。

1. 子どもの姿（発達の過程や状況、特性）を学ぶ。
2. 子どもの生活の実態および幼稚園教育の実際を理解する。
3. 子どもとの関わりによって、保育者としての自覚を持つ。
4. 保育者の職務内容や適切な援助について学ぶ。
5. 幼児の実態を考慮しながら適切な指導計画を立案し、それに基づき実践する。
6. 実習記録を通して、日々の実習を振り返り、自己課題を明らかにし、より良い保育のあり方を探る。

【事前学修】

実習園について理解を深めるとともに、実習に必要な知識や技能の向上を目指して、実習記録の記載および指導計画の立案、模擬保育の実践などに取り組む。

【事後学修】

実習を振り返り、自己の課題や問題点などについて省察し、ノート等にまとめる。実習記録を整え、実習園と養成校担当教員に提出する。

○教員の実務経験と授業の関連

幼稚園教諭として教育・保育に携わった経験、また主任教諭および園長代理として園の運営や保護者対応、教職員の育成、実習生指導などに携わった経験を通して、幼稚園教育の実際と保育者に求められる資質について教授する。

○テキスト

「第一幼児教育短期大学 教育実習・保育実習 手続きのしおり」

「第一幼児教育短期大学 実習関係書類 見本」

その他、必要に応じて資料を配布する。

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館

○学生に対する評価

実習園の評価60%、実習記録40%